

## 第9回日本臨床検査学教育学会学術大会のお知らせ

山藤 賢\*

## 【第9回日本臨床検査学教育学会学術大会】

- ① 期日：平成26年8月20日(水)～22日(金)  
 ② 会場：大田区産業プラザ  
 住所：東京都大田区南蒲田1丁目20番20号  
 ③ テーマ：臨床検査技師教育の歴史を紡ぐ  
 ～教育者としての在り方を考える～  
 ④ 担当校：昭和医療技術専門学校  
 ⑤ 大会役員  
 大会長：山藤 賢(昭和医療技術専門学校)  
 副大会長：和合治久(埼玉医科大学保健医療  
 学部健康医療科学科)  
 実行委員長：奥村伸生(信州大学医学部保健  
 学科検査技術科学専攻)  
 ⑥ 主催：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会  
 ⑦ 後援：厚生労働省・文部科学省  
 日本臨床衛生検査技師会  
 東京都臨床検査技師会

このたびの、第9回日本臨床検査学教育学会学術大会は、昭和医療技術専門学校が主管となり、学校の所在地でもある地元大田区蒲田で開催されます。大田区はNHK朝の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」でも話題になったように、産業の町として全国的にも有名な土地柄であり、今回の会場も、大田区産業プラザを使用させていただきます。久々の首都圏開催となりますが、副会長を務めていただきます和合治久先生(埼玉医科大学保健医療学部健康医療科学科)を始めとした、周辺校のご協力をいただきつつ、たくさんの方々の参加を

期待しております。

現在、我々協議会は、戸塚実新理事長のもと、理事・委員会構成、その役割分担などを構築している状態であり、その最中での初の学会開催となります。それゆえ、準備の方は順調に進んでおりますが、学会内容に関しましてはまだそれぞれのセクションと協議中の部分もあり、確定事項に関しましては、追って連絡させていただきます。

タイトルですが、『臨床検査技師教育の歴史を紡ぐ～教育者としての在り方を考える～』とさせていただきます。

昨年の学会以降、たくさんの方々から、本学会の在り方、役割について、様々なご意見、ご指摘をうかがうことができました。ありがとうございます。それを参考に今、皆様が求めていること、学びたいこと、考えたいこと、などを盛り込みつつ、独自の色を出せる学会にと考えております。

来年度は第10回の記念すべき節目の大会となります。その前に、第9回学会の役割として、今回はこれまでの歴史を一度振り返ることにより、これから掲げなければならない「臨床検査技師教育の在り方」、「教育者としての在り方」を考えるような機会にできたらという思いがあります。この学会は、振り返れば、そもそもが教育施設研修会から始まり、教員の資質向上を目的とした学ぶ場であった学会であります。前回大会におきましては、学生の参加者数、発表者数が大幅に増え、総演題数、総参加者数も増加し大きな成功をおさめました。これは大変喜ばしいことであります。

\*昭和医療技術専門学校 sando@kj9.so-net.ne.jp

しかし一方で、我々教員の参加者数並びに、教員の発表数は減っている傾向にありました。もちろん、必ずしも、それが悪いというわけではなく、この学会の在り方として、我々も自省し、考え直さねばならないこともあるのではないかという声を、多数の諸先生方からいただきました。

今までの臨床検査技師教育におきまして、今後とも変えることなく受け継いでいかねばならない根幹となるもの、また勇気を持って変化し続けていかねばならないこと、その両方を大事にしつつ我々は未来に向かって前進していかねばなりません。

なぜなら、我々の行っている「教育」とは、若者の未来を創り、日本の未来、地球の未来を創っていくための大事な役割を担っているからであります。

臨床検査技師として有能な人物を創出することだけが我々の最終的な目的ではありません。そのことが、社会と繋がり、医療界から、そして社会

から必要とされなければ、そもそも臨床検査技師の存在価値さえ問われてしまうからであります。

そのためには、我々教育者が臨床検査の枠に限らず、大きな視点で物事を学び、成長を続け、それを臨床検査技師教育を通じて学生に返していくことが必要となっていきます。大きなマクロの目で物事をとらえ、小さな目の前で起きていることにも全力を尽くす努力と覚悟が必要です。

今学会におきましては、大きな視点で物事を学べる場、また我々自身が物事を深く考え、共有し、組織として前に進むことを考えていけるような場を、少しでも提供できたらと考えております。

そのためには、諸先生方のお力と智慧がなによりも必要です。

準備におきましては、至らぬ点が多々あることと思いますが、皆様と共にいい学会を創り上げていきたいと思っております。

ご協力のほどどうぞ宜しくお願い申し上げます。